

2018年5月9日

アート、テクノロジー、ピープルの視点から、イノベーションを創出するイベント**「Future Innovators Summit (FIS)」を初めて東京で開催**

タイトル：Tokyo as a Laboratory for our Future 「東京は未来のラボである。」

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役：水島 正幸）と世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ（Ars Electronica）」が共同で立ち上げたイノベーション創出コミュニティ Ars Electronica Tokyo Initiative は、本質的な問いを掲げ、社会的イノベーションを触発するイベント「Future Innovators Summit TOKYO（フューチャー・イノベーターズ・サミット・トウキョウ）」（以下、FIS TOKYO）を2018年5月25～27日に東京ミッドタウンで初めて開催致します。



Future Innovators Summit（フューチャー・イノベーターズ・サミット 以下、FIS）は、アルスエレクトロニカと博報堂が共同開発した体験型ディスカッション・プログラムです。アーティスト、デザイナー、科学者、技術者、起業家、哲学者など異なる背景・専門性を持ったイノベーターたちが世界中から集い、未来への問い「クリエイティブ・クエスチョン^{*1}」を生み出す“生きるシンクタンク”として2014年より、オーストリア・リンツ市で開催されるアルスエレクトロニカ・フェスティバルを舞台に実施してきました。

このたび東京で初めて開催される FIS は、課題先進国である日本で、社会課題の真の解決には何が必要なのか。そもそもの課題設定を見直す「クリエイティブ・クエスチョン」と、その問いに対して企業・アーティスト・イノベーター・市民の様々な立場で考えるプログラムです。

FIS TOKYO では、Tokyo as a Laboratory for our Future 「東京は私たちの未来のラボである。」をタイトルに、「解決策」を生み出すことに留まらず、より良い明日を生み出すための「社会ミッションの創造」を目的とし、設定した3つのテーマを各4、5名ずつでディスカッションを行い、最終日にプレゼンテーションを実施します。ディスカッションと平行して、FISへ参加するイノベーターの作品・企業による未来のプロトタイプを3日間展示致します。また、25日（金）には、アルスエレクトロニカ総合芸術監督の Gerfried Stocker（ゲルフリート・ストッカー）氏をはじめ、多彩なゲストをお招きしたトークセッションも開催致します。

^{*1} クリエイティブ・クエスチョンとは、未来への多様な方向を探し、新しい可能性を触発する創造的な「問い」のこと

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室 江渡 TEL：03-6441-6161

【開催概要】

Future Innovators Summit TOKYO (フューチャー・イノベーターズ・サミット・トウキョウ)

タイトル : Tokyo as a Laboratory for our Future 「東京は未来のラボである。」

- ・全体企画・主催 : Ars Electronica Tokyo Initiative (アルスエレクトロニカ・株式会社博報堂)
- ・FIS TOKYO プログラム実施・運営 : 株式会社ボイスビジョン
- ・協力 : 東京ミッドタウン
- ・特別協力 : オーストリア文化フォーラム
- ・日付 : 2018年5月25日(金) ~27日(日)
- ・会場 : 東京ミッドタウン (〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-1)
- ・参加費 : 無料、見学自由
- ・URL : <http://aeti.jp>

<ディスカッション・プログラム> (言語 : 英語)

- ・日時 : 2018年5月26日(土) 11:00~18:00

ディスカッション成果のファイナル・プレゼンテーションは27日(日) 17:00~18:00

- ・プログラム実施会場 : 東京ミッドタウン (各プログラムの開催場所は下記参照)

テーマ 1. DEATH-LIFE in Tokyo

世界一高齢化が進んだ都市で考える未来の生と死とは？

What is life and death in a city with the fastest aging society?

会場 : プラザ B1

参加予定者 (敬称略) : 青木竜太、福原志保、エイミー・カール、バサント・モタウィ

テーマ 2. TECH-SKIN in Tokyo

先端テクノロジー都市が発信するファッションと身体の未来とは？

What would be the future of fashion borne in a city embracing the world's most advanced technology?

会場 : ガレリア 2F (雨天時ガレリア 3F)

参加予定者 (敬称略) : マルコ・ドナルーマ、川崎和也、サラ・ベクス、ラトナ・ジュイタ、佐藤翔一

テーマ 3. PUBLIC-PRIVATE in Tokyo

広場のない大都市で考える未来の個人と公共とは？

What could be the future relations of individuals and public in in a mega-city with no common space?

会場 : ミッドタウン・ガーデン (雨天時プラザ B1)

参加予定者 (敬称略) : 三原聡一郎、カイル・マクドナルド、田中元子、ハカン・リドボ、西部沙緒里

ファイナル・プレゼンテーション

- ・日時 : 2018年5月27日(日) 17:00~18:00

・会場 : アトリウム

<トークセッション>

・日時：2018年5月25日（金）16:00-20:00

・会場：コートヤード（雨天時プラザ B1）

1: Opening session 16:00-

ゲスト（敬称略）：ゲルフリート・ストッカー（アルスエレクトロニカ）、北風勝（博報堂）、石綿祐子（アーツカウンシル東京）他

2: Inspiration session 17:00-

ゲスト（敬称略）：ゲルフリート・ストッカー（アルスエレクトロニカ）、山中俊治（東京大学 生産技術研究所）、アストリッド・クライン、マーク・ダイサム（クライン ダイサム アーキテツク）

3: Flash Talk 19:00-（会場：アトリウム）

モデレーター（敬称略）：河口洋一郎、草原真知子

<アート作品・プロトタイプ展示>

・日時：2018年5月25日（金）～27日（日）11:00-21:00（最終日27日は20:30まで）

・会場：アトリウム

三原聡一郎氏、エイミー・カール氏など、FISへ参加するイノベーターの作品・企業による未来のプロトタイプを展示

【Ars Electronica Tokyo Initiativeとは】

オーストリア・リンツ市を拠点とする「アルスエレクトロニカ」は、1979年の創設以来、「アート・テクノロジー・ソサエティ」の哲学を元に、先端テクノロジーとアートシンキングの視点から、未来の社会における課題を捉え、問題提起し続けているクリエイティブ機関です。

博報堂とアルスエレクトロニカは、2014年から『Future Catalysts』として協働プロジェクトを実施して参りましたが、更に活動を拡大するべく、2017年4月に『Ars Electronica Tokyo Initiative』の発足に至りました。

Initiative(イニシアティブ)とは、先駆け、率先、第一歩という意味で、AETIは「これからの東京、ひいては日本社会を良くする為に、我々は一体何が出来るのか」をミッションとし、企業・行政・イノベーター・アーティスト等、様々なステークホルダーと未来社会を創り出すアイデアを共創し、社会への実装に向けて活動することを目的とするコミュニティです。

“Create For Tokyo Together”をスローガンに、アルスエレクトロニカが持つアートシンキング、そして博報堂の生活者視点・生活者発想を強みに、人を起点とした未来社会を描くイノベーション創出を行っていきます。